

を知りて毫も植林の法を知らず。全土を擧げて禿地たらしむ、獨り家屋を構築するの材料を失ふのみならず、晴には黃塵漠々たる天地と化し、雨には洪水蕩々たる乾坤と變せしむ、故に已むを得ず太古の状態に甘んずる彼等の心情は、豈憐むべきの極みならずや。唐の韋應物が鞏縣より舟行黃河に入るとき夾水蒼山路向東、東南山豁大河通との光景は、其れ將た何處にか在る。

住民と富  
の程度

元來河南全省の地味肥沃ならざるには非らずと雖も、其の住民一般に富まざる所以は、亂伐不植林の結果、水害多きも其の一なるべく、捻匪、長髮賊の争亂に會し、無残に破壊せられたるも亦其の一原因なるべし。然れども予は別に一大原因の存在せるもの有るを認む。何ぞや曰く、河南の人民は商業に暗きか故に、其の土地より産する利益は、悉く他省人に壟斷せられて輸出の利なく、輸入の害多き是なりとす。殊に男女老弱を問はず、自家製作の鴉片を嗜むこと甚しき爲め、住民は益々怠惰と爲り、貧困と爲れり、之を今日に救濟する所無くんば更に一層の憐むべき状態に陥らんは、敢て識者を俟たざるなり。

飲料と燃  
料

飲料は多く井水を用ふ、其地の黃土層なるか故に、容易に掘鑿し得べく、且つ丈餘